

9月26日

聖書 創世記20章1～18節

いのちを得るため。

20:1 アブラハムは、そこからネゲブの地方へ移り、カデシュとシュルの間に住みついた。ゲラルに滞在中、 20:2 アブラハムは、自分の妻サラのことを、「これは私の妹です」と言ったので、ゲラルの王アビメレクは、使いをやって、サラを召し入れた。 20:3 ところが、神は、夜、夢の中で、アビメレクのところに来られ、そして仰せられた。「あなたが召し入れた女のために、あなたは死ななければならない。あの女は夫のある身である。」

20:4 アビメレクはまだ、彼女に近づいていなかった  
たので、こう言った。「主よ。あなたは正しい国民  
をも殺されるのですか。彼は私に、『これは私の  
妹だ』と言ったではありませんか。そして、彼女自  
身も『これは私の兄だ』と言ったのです。私は正  
しい心と汚れない手で、このことをしたのです。」  
神は夢の中で、彼に仰せられた。「そうだ。あな  
たが正しい心でこの事をしたのを、わたし自身よ  
く知っていた。それでわたしも、あなたがわたしに  
罪を犯さないようにしたのだ。それゆえ、わたし  
は、あなたが彼女に触れることを許さなかったの  
だ。

20:7 今、あの人の妻を返していのちを得なさい。あの人は預言者であって、あなたのために祈ってくれよう。しかし、あなたが返さなければ、あなたも、あなたに属するすべての者も、必ず死ぬことをわきまえなさい。」

20:8 翌朝早く、アビメレクは彼のしもべを全部呼び寄せ、これらのことをみな語り聞かせたので、人々は非常に恐れた。

20:9 それから、アビメレクはアブラハムを呼び寄せて言った。「あなたは何ということをしてくれたのか。あなたが私と私の王国とに、こんな大きな罪をもたらすとは、いったい私がどんな罪をあなたに犯したのか。あなたはしてはならないことを、私にしたのだ。」

20:10 また、アビメレクはアブラハムに言った。「あなたはどういうつもりで、こんなことをしたのか。」

20:11 アブラハムは答えた。「この地方には、神を恐れることが全くないので、人々が私の妻のゆえに、私を殺すと思ったからです。」

20:12 また、ほんとうに、あれは私の妹です。あの女は私の父の娘ですが、私の母の娘ではありません。それが私の妻になったのです。

20:13 神が私を父の家からさすらいの旅に出されたとき、私は彼女に、『こうして、あなたの愛を私のために尽くしておくれ。私たちが行くどこでも、私のことを、この人は私の兄です、と言っておくれ』と頼んだのです。」

20:14 そこで、アビメレクは、羊の群れと牛の群れと男女の奴隷たちを取って来て、アブラハムに与え、またアブラハムの妻サラを彼に返した。

20:15 そして、アビメレクは言った。「見よ。私の領地があなたの前に広がっている。あなたの良いと思う所に住みなさい。」

20:16 彼はまたサラに言った。「ここに、銀千枚をあなたの兄に与える。きっと、これはあなたといっしょにいるすべての人の前で、あなたを守るものとなろう。これですべて、正しいとされよう。」

20:17 そこで、アブラハムは神に祈った。神はアビメレクとその妻、および、はしためたちをいやされたので、彼らはまた子を産むようになった。

20:18 【主】が、アブラハムの妻、サラのゆえに、アビメレクの家すべての胎を堅く閉じておられたからである。

今日の聖書箇所から、ロトの救いのために必死  
で祈ったアブラハムのその後の歩みを見て行きたい  
と思います。



創世記19章でロトの人生は終わっています。  
大変悲劇的な人生の終焉です。

ロトはアブラハムとともに  
信仰によってカルデアの  
ウルを出発しました。

アブラハムと一緒に約束の地に入り、  
祭壇を築いて祈り、ベテルの近くで  
天幕を築いて生活しました。

ここまではよかった。

信仰だけのアブラハムを見てロトは経済の欲を  
持つようになった。

牧草地在狭い、牧草が十分にない。

アブラハムのしもべと小競り合い、

いざこざを起こすようになりました。

経済成長が必要とアブラハムと別れて

低地、低俗な、ソドムの近くで生活。

バビロンのエラムの王、

ケドルラオメルケドールラオメルのソドム攻略に巻き込まれて

ロト一族は財産を奪われ、

バビロン方面に奴隸として連行される。

アブラハムの命がけの救出活動で  
救われる。

でもさっさと礼も言わずに反省もせずに  
元のソドムに戻ってソドムの罪の文化に  
どっぷりと浸る。

ソドムの罪が氾濫、  
被害者、犠牲者の叫び、苦悩、訴えが  
あふれるように天に届く。

神の使いがソドムを裁くために  
天から下っていく。

ソダムにいるロトのためにアブラハムは  
必死の祈りをする。

ロトの初めの信仰、  
アブラハムの祈りの故に  
天使はロトをソダムから無理矢理に  
引き出す。

ふがいない口トでありますが  
口トの最初の信仰の旅立ち、  
アブラハムの必死のとりなしの祈りのおかげで、口  
トは一命を取り留めて山の洞窟暮らしをするも  
のの悲惨な結末。

しかし口トは確かに救われ天に導かれ、  
新約聖書では義人口トと言われています。

信仰による救いの一つの模範です。救いは人  
間の努力や立派さからではありません。

信じた口トは救われています。

主の恵み憐れみです。

ではアブラハムは模範生でしたか。

アブラハムも罪人で、  
信仰によって、神様の恵み、憐れみによって  
救われたことが20章で証しされています。

アブラハムは18章14節で  
「わたしは来年の今ごろ、定めたときに  
あなたの所に戻ってくる。  
その時サラには男の子が出来ている。」  
という約束を人の姿を取られた神様から  
直接受けています。



この素晴らし告知を受けた時、  
同時にソドム断罪の告知も受けています。

ロトを救うためにケドルラオメルの際は  
318人の家来を連れて何万人のエラムの軍勢  
と必死で戦ってロトを救出しています。

断罪されるソドムにいるロトを救出するために今回アブラハムは必死の祈りをしました。

その結果ロトは命からがら大やけどをして救われるような救われ方でした。

救われた後のロトの人生は悲惨でした。

山の洞窟に住み、二人の娘は父ロトによって妊娠しています。

こんな時にアブラハムはなぜかヘブロンを去って  
ネゲブの地方に引っ越ししています。  
そこは神を恐れることのない地方で、  
アブラハムは美人妻サラゆえ殺されると  
思って、再度、妻を妹と偽る虚偽の嘘の  
罪を犯しています。

創世記12章の時と同じ失敗をアブラハムはし  
ています。12章の時は飢饉があったのでエジプ  
トへ逃れてそこで嘘をついています。  
今回はネゲブへ行く必然性もないのに行って罪  
を犯しています。

89才の美人サラをゲラルの王アビメレクは召し  
入れて妻としようとしたが、

神様の介入がありました。

あなたの召し入れた女のために  
あなたは死ななければならない。

アビメレクは

私は正しい心と汚れのない手でこのことを  
行ったのです。

すると神様はアビメレクに語られました。

神は夢の中で、彼に仰せられた。「そうだ。あなたが正しい心でこの事をしたのを、わたし自身よく知っていた。それでわたしも、あなたがわたしに罪を犯さないようにしたのだ。それゆえ、わたしは、あなたが彼女に触れることを許さなかったのだ。20:7 今、あの人を返していのちを得なさい。あの方は預言者であって、あなたのために祈ってくれよう。

この神様からの語りかけを受けてアビメレクはア  
ブラハムを呼び寄せて言っています。

「あなたは何ということをしてくれたのか。あなた  
が私と私の王国とに、こんな大きな罪をもたらず  
とは、いったい私がどんな罪をあなたに犯したの  
か。あなたはしてはならないことを、私にしたの  
だ。」

アブラハムの面目丸つぶれです。

あの人には預言者です。

あなたのために祈ってくれます。

でもアブラハムは人を恐れて

神の言葉を語らず、祈らず、

嘘をついて、アビメレクを罪に陥らせようと

しています。

異教徒異邦人のアビメレクが

神を恐れ従い、

神の人、預言者と言われたアブラハムが

人を恐れ嘘をついて

アブラハムの嘘は自分の不利益だけでなく

周りの人にも不利益、迷惑が及びます。



20章は、ロトだけでなく、アブラハムも  
イエス様の救いを受けなければならない  
罪人であることを教えています。

清い神様の前には  
ロトもアブラハムも少しも違わないこと。

時を知ること。

来年の今ごろ定めた時に、  
あなたの所に戻って来る。その時サラには男の  
子が出来ている。

こんな大切な時、神様の約束が  
目前という時に不用意に  
ヘブロンを離れ妻を妹と言う大罪を  
犯しています。

アブラハムはロト救出のため、必死で祈った。必死で祈ったにもかかわらず、ロトの妻は後ろを見て塩の柱。ロトと二人の娘は洞窟暮らしをしたが、二人の娘は酒を飲んだ父によって妊娠しています。悲劇的な末路です。

一生懸命に祈った、一生懸命に伝道した、一生懸命に奉仕をした。でもよい結果が出なかった。結果はどんな場合でも神様に委ねなければならぬ。

緊張の生活の終わった時、疲れた時、  
ふっと不信仰が心に忍び込み、  
祈れなくなる。

祈りの場、マムレの檜の木の下は  
アブラハムの祈りの場所であった。  
主の使いも祈っているアブラハムに現れ  
お語りになった。

ロトのことで失望したアブラハムは  
マムレを離れ、ネゲブの方に行った。

祈りをの場を離れたアブラハムは  
祈らなくなり、神様との交わりが  
疎遠になっていきました。

神様を見上げていないとゲラルの人が  
恐ろしくなってアブラハムは嘘について  
罪を犯してしまいました。

預言者といわれていながら  
神様のみ声を聴いていない、  
お祈りもしていない信仰のスランプの時。

神様の強行的な介入。  
夢でアビメレクに語る。  
アビメレクを通してアブラハムの信仰を  
目覚めさせています。

アブラハムはアビメレクという言葉で  
即刻悔い改めて

アビメレクの国の癒やしのためにお祈りをして主  
のしもべの役割を果たしています。

神様は私たちの人生においても  
不信仰の道を行くとき、信仰のスランプの時  
憐れみ深い神様は  
危険な時には介入して強制終了さえしてくだ  
さって私たちを守ってくださいます。  
弱い私たちを愛してくださる主に  
信頼して歩みましょう。



祈り